

KDAサロン活動報告

1 平成27年度 第6回 KDAサロン
信長はデザイナー？

- 講師＝鈴木智博
- 日時＝平成27年7月22日(水)
18:00～20:00
- 場所＝京の癒し町家 cafe満月の月
- 参加人数＝17名



戦国時代の武将と言えば織田信長、日本統一を前に、京都本能寺の変で家臣の明智光秀に滅ぼされた悲劇の武将。他に類を見ない安土城の奇抜なデザイン、戦場のコスチューム等、彼のエピソードは数々あるがその奇想天外の発想はどうして生まれたか？

今、全国各地で戦国武将をテーマに地域の活性化(歴史による地域活性化)を仕掛け、活動する戦国プロデューサー鈴木智博氏に、「信長は名デザイナー？」としてユニークな信長の一面を語っていただきました。

2 KDAサロン納涼交流ビアパーティ
～会員増強プラン第1弾～
POOL SIDE
BEER GARDEN

- 日時＝平成28年7月29日(金)
18:00～20:00
- 場所＝しょうざんリゾート京都
- 参加人数＝11名

3 KDAサロン特別企画
京都の
ユニバーサル
デザインを考える

- 講師＝田中直人
- 日時＝平成28年9月30日(金)
16:00～18:45
- 場所＝学芸出版社ビル 3F
- 参加人数＝46名



京都には毎年、国内はもちろん海外から多くの観光客が訪れます。特に最近では京都の歴史を訪ね、文化を体験する入浴客が増加の傾向にあります。しかしながら受け入れる公共施設や観光施設等は、欧米の各都市に比べ、対応が遅れているのが現状です。これらの背景から今回のKDAサロンでは、1部の基調講演で、まちづくりやユニバーサルデザインの国内外のUD調査・研究に取り組む田中直人氏(島根大学大学院 総合理工学研究科建築・生産設計工学領域 特任教授)にそれらの事例の数々を紹介いただき、京都に訪れる多様な観光客に優しい京都のユニバーサルデザインのあり方を語っていただきました。

2部のパネルディスカッションでは、パネラー3名に、各々の携わった事例を紹介いただき、それぞれの分野においてのユニバーサルデザインのあり方を語っていただきました。

新人さん
いらっしやい

正会員
横川 総一郎さん
社寺建築デザイナー
有限会社 匠弘堂
1964年生まれ

私は家電メーカーの設計から建築設計業界に移り、平成13年に匠弘堂という社寺建築の設計施工をする会社を起業しました。匠弘堂は日本の伝統文化の一端を担う社寺建築をその技術と共に次世代に繋ぐ宮大工の集団です。



正会員
ながた みどりさん
イラストレーター
1966年生まれ

このたび入会させていただくことになりましたイラストレーターのながたみどりと申します。主に新選組や幕末維新の人物や源氏物語、そして京都の風景などをかわいく描いております。今後ともどうぞよろしくお願い致します。



正会員
荻野 祥行さん
グラフィックデザイナー
株式会社 オーデザインチャンネルズ
1966年生まれ

自然豊かな京都府北部の京丹後でデザインの仕事をしています。

「デザインのチカラ」で様々な問題を良くしていく。そのように考え、微力ながら京都のデザイン、丹後のデザインを盛り上げていければと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



正会員
吉田 淳一さん
グラフィックデザイナー
株式会社 JY DESIGN
1977年生まれ

紙媒体の販促ツールを中心にデザインワークを行うデザイン会社を営んでおります。

PCの性能が多様化し、誰もが簡易にデザインが出来る世の中ですが、本質的なデザイン価値を守っていきたくと思っています。



正会員
堀口 英人 さん
建築デザイナー
株式会社 トライアード
1971年生まれ

私は京都で生まれ育ちましたが、この年齢になり、京都の歴史と文化、伝統工芸の素晴らしさ、街の美しさを改めて感じております。京都を拠点とする京都デザイン協会の一員として、弊社のスローガンである『OMOSHIROIをかたち』の精神で「まちづくり」や「ものづくり」に関わらせていただきたいと思います。また、海外との文化交流の橋渡しとなり、京都の魅力をもっともっと世界へ発信する事に貢献していきたいと思ひます。

今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。

LOOK!
KDA

京都デザイン協会会員のみなさまに
KDAの今を随時ご報告します。

会員のために、
京都デザインの明日のために
さまざまな事業活動を実施中。
どうぞご参加ください。

vol. 2016
秋
io

2015年6月～2016年9月
のご報告

公益社団法人
京都デザイン協会
〒604-8247
京都市中京区塩屋町39
TEL: 050-3385-8008
FAX: 050-3385-8009
URL: http://www.kyoto-design.net/
E-mail: info@design.kyoto
2016年 10月20日発行

京都の地で連綿と受け継いで64年

京都では、1952年春に京都商業デザイン協会が設立され、1954年4月に京都商業美術家協会が設立されました。同じ京都で活動する二つの団体は、翌年4月に合併し京都商業美術家協会を誕生させ、デザインに携わる汎ゆる分野の人達の結集による京都を中心としたデザイン運動を展開してきました。

その後、1967年5月「21世紀への新しい波を京都から!」を設立主旨とし、京都に活動の基盤をおく各ジャンルの第一線で活躍するデザイナー・団体を

結集し、京都デザイン協議会として発足しました。

1979年京都デザイン協会と改名、1981年に社団法人京都デザイン協会に移行、2013年には公益社団法人京都デザイン協会として認可され、現在、グラフィック、インテリア、ディスプレイ、建築、都市計画、プロダクト、テキスタイル、コスチューム、ICTなどの幅広いジャンルの会員により構成されています。

本協会はデザインを通じて京都の地域産業の振興とその国際的独自性の確立をはかり、併せて京都

の心豊かな地域生活環境の形成に寄与することを目的として、府、市、公共団体等のデザイン振興事業の受託実施、会議、展覧会の開催、国内外の関係諸団体との交流、連携、等の社会的活動を力強く展開しつつあります。これらの活動が契機となり、「新しい波」として京都から全国に、さらに世界に向かって波及することを願うものです。関係の皆さまの絶大なご支援とご協力を賜りますことをお願い申し上げます。

report 1

第35回 京都デザイン会議 グローバルワーキングを考える。

世界に挑戦する京都デザインの
キーマンがその奥義を語る

◆パネラー



細尾 真生
株式会社 細尾 代表取締役社長
京都市生まれ。75年同志社大学経済学部卒業後、伊藤忠商事(株)入社。78年イタリア・ミラノのノートンズ社出向。82年帰国後(株)細尾入社。2000年(株)細尾代表取締役社長に就任。



西堀 耕太郎
株式会社 日吉屋 代表取締役／合同会社T.C.I.研究所 代表
唯一の京和傘製造元「日吉屋」五代目。「伝統革新の連続である」を企業理念に掲げ、伝統的和傘の継承のみならず、和傘の技術、構造を活かした新商品を積極的に開拓中。



村田 智明
株式会社 ハーズ実験デザイン研究所 代表取締役
京都造形芸術大学教授大学院 SDI所長
鳥取県生まれ。1986年に同社を設立、プロダクトを中心に広範囲なデザイン活動を行う。自ら立ち上げたブランド共有型コンソーシアムブランドMETAPHYS製品は、Gマーク特別賞をはじめ、国内外で50点以上を受賞。

今回開催された京都デザイン会議は「グローバルワーキングを考える」というテーマの第2弾でした。

第1部(シンポジウム)では、京都に縁の深い日本人3人(細尾真生氏、村田智明氏、西堀耕太郎氏)に、日本から海外へ目を向け、どのように成功を収めているか、また反対に海外の方からゲストの活動がどのように注目や評価を得ているかを語っていただきました。

第2部のディスカッションでは、参加者各自の質問を直接ゲストにぶつけていただきました。このディベートで、京都のデザイン、また日本のデザインを今一度考え直し、どのように世界へ発信していくかを考える一助となったのではないのでしょうか。

会議終了後に同会館2階レストランTsumuguiにて行われた交流会ではみなさん親交を深められたようです。

今回のデザイン会議が、第37回への開催に繋がればと思います。

KDAフライデーナイトのご案内

毎週第4金曜日に開催している会費不要・参加自由な会員同士のコミュニケーションの場です。

- 会費不要
- 参加資格／当協会会員であること。また、友人・知人など会員同行での参加も可。
- 開催日時／毎月第4金曜日18:30～21:30くらいまで開催しています。
立ち寄れる時間からいつでもお越しください。
- 開催場所／KDA事務局 ●飲み物・食べ物、自分の分は自分でご持参下さい。